



2013年は巳年です。

日本の神話に登場する蛇はヤマタノオロチ（八岐大蛇）といって、頭が8つ、尾が8つ、体の長さは8つの谷を越えるほどだったといわれています。そのオロチが娘を食いに来て、スサノオノミコトという神に退治されたという話です。

一方、蛇は神格化され、聖書や神話にもしばしば登場します。また、水の神として信仰されたり、家の守り神として家に住みつくのを喜んだりする例もあります。

このように、蛇は悪者として恐れられてもいますが、神としてあがめられることもあり、いろいろな話が世界各地に伝わっています。

「蛇穴を出づ」は冬眠していた蛇が、春の訪れとともにはい出すこと。社会にはいろいろな出来事がありますが、今年も春のように、明るい日差しが降りそそぐことを願いたいものです。

火之神公園 / 12月13日



平成25年（2013年）がいい年でありますように
皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

枕崎市長
神園 征



元日や 吾新たなる 願あり
(夏目漱石)

まず、昨年の新年号に書いた事々の「それから」について記します。

南薩縦貫道の「枕崎からの早期着工実現！」は、その通りになりました。瀬戸から中原地区にかけて「中原工区」と名づけられ、23年度の2100万円に続き、24年度は3億1400万円の予算化がなされ、現在、測量、設計、用地調査などが始まっています。完成目標は27年度になると県は発表しています。

「駅舎建設」については、昨年3月に建設期成会を立ち上げ、寄附金募集が始まりました。市民や市

出身者の方々のご厚志が全国各地から寄せられています。また、企業からも然りです。

その後、県の「魅力ある観光地づくり事業」の対象ともなり、駅舎のみならず、その周辺整備も行われることになっていきます。現在、寄附金は目標額に対し500万円ほど不足していますので、引き続きお願いしている状況です。

昨年の途中から新しく取り組み始めた事業でも大きく重要だったのは、「枕崎空港廃止」と「その跡地へのメガソーラー事業の誘致」でした。枕崎空港は建設費に21億円を投じ、平成3年に華々しくオープンしましたが、その後の経営は思わしくなく、市が負担す

る管理費などの累積赤字は23年度末で約8億3500万円、今後の施設整備費などを含めると9億円を超えるという状況でした。

メガソーラーを展開する企業は、オリックス（東京）と九電工（福岡市）の両社が出資して枕崎に設立する新会社です。事業者からは地域貢献として、年間約8500万円が支払われる予定です。

するとの回答を得ています。

健康や福祉面では、保健、医療、介護、福祉の一体的な取り組みを行う地域包括ケアシステムの構築に向けて検討をすすめるため、昨年末頃から勉強が始まっています。

目新しい地域貢献策の一つとして、天文観測施設の設置があり、その経費等も含まれる予定です。子どもたちのみならず、大人にも楽しんでいただけたらと思います。

また、今年は「風の芸術展」トリエンナーレまくらざき」の開催年に当たります。

去年の特筆すべきものを他にいくつか挙げますと、①山崎敏廣さん（36代木村庄之助）に市民栄誉賞の授与、②「枕崎鯉船人めし」がS・Iグランプリで優勝、③火の神乙女太鼓が全国大会5位入賞（過去最高）、④市立病院がリニューアルオープン、⑤稚内市と友好都市締結、⑥「ふしの日」、「いふしの日」を制定等々数多あります。

国際的に活躍中で、現在カナダ在住の日本人女性オペラ歌手による「枕崎でのリサイタル」が実現するかもしれません。私の高校時代の級友の仲立ちで、ご本人とも交渉が始まっています。唄われる歌は皆さん馴染みの深い日本の歌曲が中心になると思います。今のところ10月頃の実現をめざしています。

さて、新しい年のことです。

道路では、峯尾峠の線形改良について引き続き要望しており、着工時期は未定ですが、国からは実施

私も益々元気です。今年もよろしくお祈りします。